**小学校算数　力だめしプリントパート５**

**【５年生　円周】**

年

組

名前

解　答

番

**【解答用紙】**

H23府調査A7

(1)

H24A7

**４**

**１**



**１**

**３**



**２cm**

**３**

式　　１２０　÷　　　　　　＝　　　　　　 答え

　　÷　　　　　　＝

　　　　　　　　ｃｍ

説明　紙の横の長さは１２０ｃｍです。

**（例）**

**円が横に３つならんでいるので、120÷3=40で、**

**直径の長さを求めました。**

**半径の長さは直径の半分なので、40÷2=20で**

**半径の長さを求めました。**

　だから，半径の長さは20cmです。

**１０　×　３．１４**

**３１．４cm**

**４３．９６cm**

**７　×　２ ×　３．１４**

**６２．８m**

**１２５．６cm**

**２０ ×　２　×　３．１４**

(４)

式

答え

(

(３)

式

答え

(

(２)

式

答え

(

(１)

式

答え

(

ワークブック円周③ 1

**６**

**１８．８４cm**

**６ ×　３．１４**

H26A 5(1)

**５**

H207)

**３**

**２**

H21B1(3)

**２**

**２**

**４０**

**３**

**４０**

**２０**

**２０**

**２**

**２０ ×　３．１４**

**小学校算数　力だめしプリントパート５**

**【５年生　円周】**

年

組

名前

解　答

番

**【解答用紙】**

単元別テスト「円周」3

)

**９**

H22A4

)

**７**

（答え）　　回転

（理由）

**８**

(１)

**１**

**１**

(２)

**４**

(１)

**直線部分は３×２＝６　６ｃｍ**

**円周部分は半円２つで１つの円になる。**

**３×３．１４＝９．４２**

**６＋９．４２＝１５．４２**

**結び目の１０ｃｍをたす。**

**１５．４２＋１０＝２５．４２**

答え

ポイントは、回転する円が、ちょうど半分まで来たときに、１回転していることを表現できていること。

単元別テスト「円周」1

)

**２**

（答え）　　回転

（理由）

**例１：回転する円がどれだけ回転するかは、回転する円の中心が動いた距離で考えなくてはなりません。**

**よって、外側の円は、半径2ｃｍ、すなわち、直径4ｃｍの円の円周を動いたことになります。**

**４×３．１４＝１２．５６（ｃｍ）**

**これを円の円周でわると**

**１２．５６÷（２×３．１４）＝２　よって２回転です。**

**例２：例えば、１００円玉の円周の半分の距離を直線上で転がすと、その１００円玉はその地点では逆さに向いている。しかし、実際の１００円玉の円周の半分の地点では、直線上での半分進んだ状態から１８０°向きを変えなければならない。つまり、１００円玉の円周の半分すんだとき、その位置での１００円玉は１回転していることになる。**

**その同じことが、残りの半周分で起こるので、１００円玉のまわりを１周すると、２回転する。**

(２)

**直線部分は３×４＝１２　１２ｃｍ**

**円周部分は４すみの部分４つ分で１つの円になる。**

**３×３．１４＝９．４２**

**１２＋９．４２＝２１．４２**

**結び目の１０ｃｍをたすと**

**２１．４２＋１０＝３１．４２**

答え

（答え）　　回転

（理由）

**２５．４２cm**

**３１．４２cm**